

# 救急外来における感染症対策

救急外来では発熱外来（朝霞地区 PCR センター）を行っておりますが、発熱外来と一般外来は物理的に区画を分けて交差感染を防止しています。

発熱外来と 2 次救急で搬送される患者さんも入り口を分けており、接触することはありません。また発熱患者さんが搬送された際も、対応する職員・区画を限定して行っております。対応する職員は適切な PPE を着用して行い、感染を防止します。

救急病棟は新型コロナ感染症移行、肺炎等の患者さんの緊急入院専用病床として稼働しております。簡易陰圧装置等を新規に設置し、新型コロナ感染症の検査結果がでるまで、すべて個室で対応し万全の体制を整えています。

外来・病棟ともに最大限の感染症対策を行いながらこれからも地域の救急医療に貢献していきます



簡易陰圧装置を救急外来 4 台、救急病棟 6 台新規に設置